

1人1台端末の活用による実践事例

(小・中学校)

学校名	岡山県立天城中学校	実践者名	内藤 貴子		
教科等	保健体育	学年	第3学年		
		Stage	Stage 3		
育成したい 資質・能力	情報編集力 プレゼンテーション能力				
単元・内容等	単元：生活習慣病 内容：事例の課題を見つけ、教科書やICTを活用し、集めた情報をまとめ、根拠を持って改善策等について発表する（計2時間）				
児童生徒の実態 (端末活用頻度等)	保健体育に限らず、様々な授業の中で日常的に活用している。課題のやりとり、スライドの作成、情報の共有（Jamboard）、etc・・・				
活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する					
<p>「日常生活に結びつく具体的な事例を題材に、これまで習得してきた知識を、課題の改善につなげることができるようにする」という課題を設定した。</p> <p>(1) 2つの事例を通して、運動、食事、休養及び睡眠、口腔衛生と健康について考えさせ、生活の問題点を捉えさせた。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 【Aさんの課題】 ① 運動 ② 食事 ③ 休養と睡眠 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> 【Bさんの課題】 ① 食事 ② 休養と睡眠 ③ 口腔衛生 </td> </tr> </table> <p>(2) 6つのグループに分かれ、担当した課題についてインターネットや教科書などを用いて調べ、その内容をスライドにまとめた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題 ・ 改善方法 ・ 改善することのメリット ・ 改善しないとどうなるのか <p>(3) 作成したスライドを使って発表した。</p> <p>(4) 発表を聞いて、事前時記入していた自分の生活の状況を結びつけながら、自分の生活をよりよくするために実践していきたいことをワークシートに記入した。</p>				【Aさんの課題】 ① 運動 ② 食事 ③ 休養と睡眠	【Bさんの課題】 ① 食事 ② 休養と睡眠 ③ 口腔衛生
【Aさんの課題】 ① 運動 ② 食事 ③ 休養と睡眠	【Bさんの課題】 ① 食事 ② 休養と睡眠 ③ 口腔衛生				
実践者の手ごたえ		児童生徒の振り返りや反応等			
自分が調べた内容に自信をもって発表する様子が伺えた。生活リズムやバランスが崩れることで、身体に起こる変化を自分のこととして捉え考えることができた。		(生徒の感想から) 「発表を聞いて、自分の生活習慣を見直すきっかけになった。特に睡眠時間を確保できるようにスマホの時間を見直したい。」「改めて運動・食事・睡眠・歯の大切さがわかった。自分の生活には改善点が多くある。」「間食を少なくすること、寝る前にスマホを触らないように意識して生活していきたい。」			

